

七尾市農業委員会委員の推薦・応募状況

令和8年4月13日 現在

受付番号	区分	候補者								推薦者						
		ふりがな氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況		認定農業者の該当・非該当	農地利用最適化推進委員への推薦等状況	団体名	目的(事業内容)	団体(役職名・代表者名) 個人(氏名)	構成人数	構成員たる資格、推薦をする者の特徴	推薦(応募)理由
1	個人推薦	たけざわ まこと	農業	49	男	—	営農年数	8	該当	なし	七尾市たかな地区活性化協議会	「自分たちの町は自分たちがつくる、町民が主役のまちづくり」を掲げ、豊かなまちづくり、地域課題の解決をめざす。	会長 酒井 藤雄	23	豊かなまちづくり、地域課題の解決に取り組んでいる。	・地区の生産組合長、活性化協議会産業部会副部長職にあり、地域の信任を得ている。 ・認定農業者として、農地の利用集積・集約化について自ら規模拡大を実践し積極的に活動している。 ・地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員会業務に貢献できる。
	団体推薦	竹澤 誠					営農類型	水稲								
	応募						耕作面積(a)	1,074								
2	個人推薦	うすいけ ひでき	団体職員	64	男	・石川県農林水産部職員(S59.4.1～R4.3.31)	営農年数	42	非該当	なし	伊久留町町会	地区住民相互の親睦を図ると共に、地域社会の文化、生活環境の向上と福祉の増進に努め、明るく住み良い地域づくりを行うこと。	町会長 臼井 満	250	伊久留町住民からなる地縁団体	・若くから農業に従事し、地域の農業生産システムや営農に関する知識を習得している。 ・長年石川県職員として農業関係部署で勤務し、農業関係法令や国、県が進める農業施策に関する知見を有している。 ・町会役員時には率先して、地域内のほ場整備事業を進め、農業生産基盤の整備を通じて、生産効率の向上につなげるとともに、事業実施中には、中間管理機構を通じて担い手への農地利用集積を進め、農業経営の安定を図るなど、知識と経験を有しており、七尾市の農業振興に資することができる。
	団体推薦	臼池 秀紀					営農類型	水稲、露地野菜ほか								
	応募						耕作面積(a)	58								
3	個人推薦	はしもと よしこ	管理栄養士 (日本栄養士会認定栄養ケア・セッション 代表)	72	女	・農業委員(H29.7.24～3期目) ・女性農業委員登用促進アドバイザー(R5、R7年度)	営農年数	—	非該当	なし	のと地区輝く女性の会	のと地区の女性団体の交流と地域の活性化	会長 木下 八重子	100	能登地区各種女性グループによる活性化の支援を目的とし活動する。	・管理栄養士として、食に関わる仕事の関係で食料自給率を上げること、地域の生産物に対する消費量について関心が高く、農地や生産者の皆様のために自分たちでできる事をしたいという思いがある。 ・子どもたちの食育事業や地域住民の皆様への健康教室で食事の大切さを話す立場(食とその根本にある農の大切さを話す機会がある)にあり、農業を守るために農地を減らさない、担い手を減らさないための施策に関わるため、農業委員としての活動が望まれる。
	団体推薦	橋本 良子					営農類型	—								
	応募						耕作面積(a)	—								
4	個人推薦	なかね はるみ	無職	77	女	—	営農年数	10	非該当	なし	七尾市女性団体協議会	七尾市の公的行事の参加等、地域女性会活動	会長 中根 春美	800	地域の女性が地域課題に取り組む、住みよい地域社会づくりをめざし活動する。	・農業(営農組合)に従事し、農業の大切さを理解している。 ・所属団体(女性会)からも女性農業委員として参画し、女性の目線により多く活動の幅を広げていきたい。
	団体推薦	中根 春美					営農類型	水稲、露地野菜								
	応募						耕作面積(a)	80								
5	個人推薦	やまざき けいこ	農業	70	女	—	営農年数	30	該当	なし	七尾市女性団体協議会	七尾市の公的行事の参加等、地域女性会活動	会長 中根 春美	800	地域の女性が地域課題に取り組む、住みよい地域社会づくりをめざし活動する。	・農業を身近に感じてもらい、理解してもらうには女性の力が必要だと思う。 ・女性の力で農業を盛り上げ、農地を守るためにも活動してほしい。
	団体推薦	山崎 啓子					営農類型	露地野菜、施設野菜ほか								
	応募						耕作面積(a)	34								

七尾市農業委員会委員の推薦・応募状況

令和8年4月13日 現在

受付番号	区分	候補者							推薦者							
		ふりがな氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況		認定農業者の該当・非該当	農地利用最適化推進委員への推薦等状況	団体名	目的(事業内容)	団体(役職名・代表者名) 個人(氏名)	構成人数	構成員たる資格、推薦をする者の特徴	推薦(応募)理由
6	個人推薦	ほうきょう ひろてる 法京 廣照	農業	71	男	・農業委員(R2.8.1~2期目) ・飯川町生協長(R2.1.1~) ・JA能登わかば代表監事(R4.6.25~R7.6.21) ・JA能登わかば理事(R7.6.22~)	営農年数	46	非該当	なし	徳田地区生協長連絡協議会	徳田地区の農業振興を図る。	会長 坂井 助光	500	徳田地区各町、生産組合の代表からなる団体	・地域の農業経営の安定と農地の有効利用を促進し、活力ある地域農業の持続的な発展のため、活躍が期待できる。 ・農業委員として「農地利用最適化の促進」など農地法に基づく活動が期待できる。
	営農類型						水稲、露地野菜									
	耕作面積(a)						200									
7	個人推薦	ささき こうぞう 佐々木 幸造	農業	72	男	・農業委員(R5.8.1~1期目) ・杉森町生産組合長(H24.4.1~H26.3.31) ・農地水保全管理支払交付金事業代表(H24.4.1~H29.3.31) ・県営圃場整備事業地区多面的機能活動組織副代表(R7.6.9~)	営農年数	43	非該当	なし	杉森町会	杉森町において、住民の相互の連絡や生活環境の維持など各種活動を行う。	町会長 藤田 利一	31	杉森町住民からなる地縁団体	・主に水稲栽培を中心に営農を43年継続し、杉森町町会長、生産組合長、農地水保全管理支払交付金事業の代表などを歴任し、地域の農業を熟知し、農業振興に率先して取り組み、共同作業等にも積極的に参加している。 ・田鶴浜町土地改良区の総代として旧田鶴浜町の土地改良事業の振興、用水路施設維持に寄与した。 ・高田町、杉森町、西下町で取り組んでいる圃場整備事業推進協議会の委員を務めるなど、地域の農地維持、営農継続に尽力している。
	営農類型						水稲									
	耕作面積(a)						71									
8	個人推薦	くろつち まさのり 黒土 政徳	農業	77	男	・農業委員(R5.8.1~1期目) ・農事組合法人佐野ファーム理事(H19.5.8~) ・中山間地事業 役員(H12~) ・ななか農業振興協議会理事(H19.4.1~) ・佐野町町会長、役員(通算37年間、うち町会長9年間)	営農年数	43	該当(法人)	なし	-	-	須崎 昭夫 長井 惣亮 岩見 信秀	-	-	・東湊地区は担い手不足や少子高齢化、過疎化等が進み、耕作放棄地が増加する中で、活かすべき農地を明確化し、利用調整等の課題がある。候補者は佐野町町会長を務めるなど、社会的信用が厚く、農事組合法人の設立や中山間地事業の取り組みに尽力している。 ・令和5年6月1日から農業委員を務め、地域の問題や課題等や広範囲な地域の地理等に精通しており、実態に即した対応力と見識を有しており適任である。
	営農類型						水稲、露地野菜									
	耕作面積(a)						380									
9	個人推薦	やまもと まさあき 山本 正秋	農業	60	男	・農業委員(R2.8.1~2期目) ・ななか農業振興協議会理事(R4.4.1~) ・JA能登わかば職員(H6.4.1~H31.3.31)	営農年数	8	該当	なし	熊野町会	地域コミュニティの核として、町会員の福祉の向上、祭り文化の継承及び防災における互助共助の活動を行うこと。	町会長 岩島 輝夫	200	熊野町住民からなる地縁団体	・地域の農業事情に精通し、生産組合、水利組合においてリーダー的役割を担っている。 ・里山の保全活動や小学生の農業体験教育に取り組んでいる。 ・特に農業分野(米作、畑作等)において、集約的に取り組み地域農業の発展のために尽力してもらえと考える。
	営農類型						水稲、露地野菜ほか									
	耕作面積(a)						1,450									
10	個人推薦	いだ けいいち 井田 啓一	農業	73	男	・七尾市農業振興協議会会長(H22.3~H29.3) ・ななか農業振興協議会会長(H24.3~H29.3)	営農年数	33	該当	なし	中笠師町会	中笠師町会において、住民の相互の連携や生活環境の維持など各種活動を行う。	町会長 宮本 勝	80	中笠師町会住民からなる地縁団体	・先代より地域農業に積極的に取り組んでおり、水稲を中心として地域の農業の担い手である。 ・農業規模拡大を図り地域の農地を守っている。 ・年々農地の規模拡大を図り、水稲を耕作する傍ら畑作も営んでおり農業経営に対する姿勢は他の農業者の模範となっている。
	営農類型						水稲、露地野菜ほか									
	耕作面積(a)						2,550									

七尾市農業委員会委員の推薦・応募状況

令和8年4月13日 現在

受付番号	区分	候補者							推薦者							
		ふりがな氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況	認定農業者の該当・非該当	農地利用最適化推進委員への推薦等状況	団体名	目的(事業内容)	団体(役職名・代表者名) 個人(氏名)	構成人数	構成員たる資格、推薦をする者の特徴	推薦(応募)理由	
11	個人推薦	おおはま あきら 大濱 昭	農業	68	男	・農業委員(R2.8.1~2期目) ・農地利用最適化推進委員(H29.8.1~R2.7.31 1期)	営農年数	40	該当(法人)	なし	三室町会	三室町において、住民相互の連絡や生活環境の維持など各種活動を行う。	町会長 小崎 裕敏	280	三室町住民からなる地縁団体	・長年にわたり、地域農業の発展に尽力し、加えて自治会活動や地域行事にも積極的に参加し、幅広い世代から信頼を得ている。 ・人柄と調整力は農業委員としての職務遂行に大いに資すると確信する。
	営農類型						水稲、露地野菜									
	耕作面積(a)						200									
12	個人推薦	さかい すけみつ 坂井 助光	農業	78	男	・農業委員(H20.7~6期目) ・能登わかば農業協同組合理事(H13.6~)、代表理事組合長(H28.6.25~R4.6.24) ・七尾土地改良区理事(H18.6~R5.2.25) ・徳田地区町連会長(H26.3~)	営農年数	58	該当	なし	徳田地区生協長連絡協議会	徳田地区の農業振興を図る。	会長 坂井 助光	500戸	徳田地区各町、生産組合の代表からなる団体	・農業問題に精通しており、認定農家として細口町をはじめ徳田地区の中心となって農業振興を積極的に図るとともに自らも規模の大きな農業経営を展開している。 ・県や市の農業団体の役員をはじめ地域の各種団体の役員を務めており、県や市の状況や地域の実情、情勢に精通している。
	営農類型						水稲									
	耕作面積(a)						400									
13	個人推薦	いしい まさよし 石井 昌嘉	農業	71	男	—	営農年数	26	非該当	なし	徳田地区生協長連絡協議会	徳田地区の農業振興を図る。	会長 坂井 助光	500戸	徳田地区各町、生産組合の代表からなる団体	・八田町生協長であり農業に熱心である。
	営農類型						水稲									
	耕作面積(a)						180									
14	個人推薦	しみず としはる 清水 利晴	自営業	69	男	—	営農年数	42	非該当	なし	—	—	—	—	—	5年前に隣りの田の耕作者から、来年からこの田んぼを頼むと言われ、それまでは25aくらいの面積を耕作し、少し物足りないと思っていたところだったので、軽く引き受けたところ、なんと80aも増えることとなり、また今年50aを引き受けた。考えて見ると幼少期には、周りの家は全て少なからず耕作をしていた。これからの農業はどうなっていくのか興味がわいたため。
	営農類型						水稲									
	耕作面積(a)						160									
15	個人推薦	にしの たけし 西野 猛	自営業	70	男	・農業委員(R5.8.1~1期目) ・農地利用最適化推進委員(H29.8.1~R5.7.31 2期)	営農年数	45	該当	なし	矢田町会	矢田町において、住民相互の連絡や生活環境の維持など各種活動を行う。	町会長 寺谷 和男	3,000	矢田町住民からなる地縁団体	・農業従事者であり、認定農業者で町内においても経営は大規模であり中心的存在である。 ・地域の状況、農地の状況に深く理解している。 ・現農業委員を務めている事から、知識と経験を有しており、さらなる活躍が期待できる。
	営農類型						水稲									
	耕作面積(a)						305									

七尾市農業委員会委員の推薦・応募状況

令和8年4月13日 現在

受付番号	区分	候補者								推薦者						
		ふりがな 氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営状況		認定農業者の 該当・ 非該当	農地利 用最適 化推進 委員へ の推薦 等状況	団体名	目的(事業内容)	団体 (役職名・代表者 名) 個人 (氏名)	構成 人数	構成員たる資 格、推薦をす る者の特徴	推薦(応募)理由
21	個人推薦	きたがわ ひさし 北川 寿	会社員	63	男	—	営農年数	40	非該当	なし	能登島町会 連合会	自治組織の向上発 展と、各町会相互 の連絡協調を図 り、七尾市の発展 と公正な運営に協 力し、市民の福祉 増進を図る。	会長 藤波 博之	20	能登島地区の発 展のため、地域 団体と連携を取 り、市制の円滑 な運営に協力	・集落では年配からは一目置かれ、若手からは慕われる貴重な存在である。 ・水稲、カボチャを作付けし、カボチャは水不足になりがちな田んぼでの転作で、遊休農地を増やさないための策である。 ・農業、農地に関しても自身の考えがあると思われることから、農業委員として十分に活躍できると考える。
	営農類型						水稲、露地野菜									
	耕作面積(a)						80									
22	個人推薦	ひしの ひとし 菱野 仁志	会社員	65	男	・農業委員(R5.8.1~1期目)	営農年数	28	該当 (法人)	なし	能登島町会 連合会	自治組織の向上発 展と、各町会相互 の連絡協調を図 り、七尾市の発展 と公正な運営に協 力し、市民の福祉 増進を図る。	会長 藤波 博之	20	能登島地区の発 展のため、地域 団体と連携を取 り、市制の円滑 な運営に協力	・地域の農業法人で、営農活動を継続している。 ・遊休農地の管理への意識や、担い手となる若手に関心をもちてもらえるよう、どうすればよいか考えなくてはならないと意欲的である。
	営農類型						水稲									
	耕作面積(a)						25									